



活気あふれる水産市場での競りの様子

すごくて 意外！ 佐世保が「漁獲量ランキングで全国2位」に！

これは、まさしく九十九島海域から五島灘にかけての西海の恵みによるものでしょう。また、本市における漁業関係者の技術の向上と、漁業に従事する若い世代の人材確保によるものも大きいと思います。

漁業は気象条件や海域の自然現象などに大きく左右されます。漁獲量が増えることはやむを得ないことですが、自然と闘い、あるいは協調しながら、佐世保市の大きな産業の柱である水産業に従事されている漁業関係者の皆さまに敬意を表しつつ、さらに、これからも切磋琢磨して水産業の振興にご尽力を賜りますことを期待しています。

なお、この調査には、トラフグ、マダイ、ハマチ、マグロなどの養殖部門は入っていません。養殖部門においてもトラフグ養殖は全国第2位など大変健闘されていることを付記したいと思います。

佐世保市長 朝長 則男

先般、平成28年市町村別漁獲量ランキング(農林水産省・海面漁業生産統計調査)が発表されました。佐世保市は漁獲量90,065トンで、なんと全国第2位にランクインしていました。1位は茨城県の都市でしたので、当然ながら



市長日記

長崎県で第1位、九州でも第1位ということになります。また、平成27年修正版のランキングにおいても当初発表の第4位から第3位(87,127トン)に順位が上がっており、連続の上位ランクインは嬉しい限りです。

本市は小佐々町や鹿町町と合併してから漁獲量が増加するようになり、平成23年、24年は第11位になりました。初めてベストテン入りした平成25年は第8位(70,404トン)で、その後26年は第10位と一時落ちましたが、27年には一気に第3位とランクアップしました。

平成27年から28年にかけての漁獲量増加とランクアップの要因は、^{まきあみ}旋網漁業の漁獲量増加によるものと考えています。魚種は、アジ、サバ、カタクチイワシ等のイワシ類など、いわゆる「青魚」が主になっています。

徳通信

76 聞いて「徳」する話 37 バスの運転手と青年の優しさの連鎖

昨年11月、大野方面行きの市営バスに乗っていたときのことです。俵町のバス停で、ある女性が両手に手提げを持って座席を立ちました。ふと見ると、小さな袋が残っていたので「忘れ物ですよ」と声を掛けましたが、聞こえなかったようで、私は席を立って手渡そうとしましたが間に合いませんでした。

私はとっさに運転手さんに「あの女性の忘れ物です。ちょっと待っててください」と断り、バスのステップを降りたところ、目の前に20歳くらいの青年がいました。手渡してもらおう頼むと、その青年は快く引き受けてくれ、大股で飛ぶように走り出し、横断歩道の手前までその方に渡してくれました。私はバスに戻って運転手さんにお礼を言い、その青年に窓越しにお礼の会釈をしました。私たちは日常の生活の中でさまざまな場面に出会い、

後で反省することはよくあります。年老いてくると外出時にお世話になることは多くなります。今回私が見たのは、運転手さんの優しい計らいと優しい青年の素早い行動の連鎖がもたらした一つの出来事だったと思います。(毛利英雄・80代)

「聞いて徳する話」募集中
身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市HPからダウンロードすることもできます。
事務局
佐世保徳育推進会議(佐世保市教育会内)
〒857-0054 栄町4番11号
電話・ファクス 23-2856
Eメール sasebotokuiku@alpha.ocn.ne.jp

シリーズ 佐世保の水事情と石木ダム 1

過去の 渇水の実態について

本市は水道の供給が停止する「断水」を伴う渇水にたびたび見舞われてきましたが、その中でも戦後最大の渇水と言われた平成6、7年の給水制限は約9カ月にも及びました。一時は2日間で5時間しか水道の供給が行われないという非常に厳しい給水制限に至り、多方面でさまざまな混乱や影響が生じました。当時の混乱した状況などは次のとおりです。

- 給水時間に合わせて仕事を休み、必要な水をタンクに貯めるなど、水の確保に追われました
- タンクに水を貯めてトイレやキッチンなどに運ぶ作業は身体的な負担も大きく、高齢者世帯など

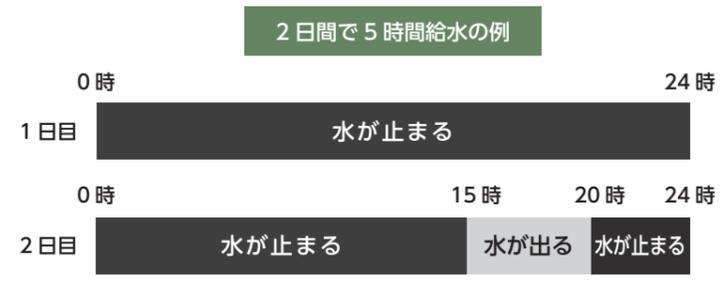


給水時に貯めた水をバケツにくみ、トイレに使う様子

本市の長年の課題である石木ダム建設事業は、これまでに約8割の地元住民の方々にご理解とご協力をいただき、現在は道路整備などの工事が進められています。一方で、直近の給水制限(平成19年度)から、ことしで10年が経過したこともあり、「渇水の実態や石木ダムの必要性がよく分からない」という人も増えてきています。このようなことから、本市の水事情等について今月号からシリーズでお知らせします。

- 地域での助け合いが不可欠でした
- 乳幼児がいる世帯では、ミルクやオムツ交換などで使う水が足りずに困りました
- 溜め水を家族で共同利用するため、感染症など衛生面での不安も大きなものでした
- 食器洗い等に自由に水が使えず、紙皿や紙コップ等で代用するなどの苦勞を伴いました
- 学校ではプール授業が中止となり、給食にも影響が出ました
- 断水中に発生した火災で初期消火ができず、家屋が全焼し住民が亡くなる痛ましい火災事故が発生したこともあり、大きな不安を抱えながら雨を待つ生活が続きました

高齢化が進むとともに共働き世帯が多くなっている現在、学校では中学校給食も始まっていますが、



本市の水事情は以前と変わらないうえ、今、同じような渇水に見舞われると、その影響は計り知れないものになることが懸念されます。

水資源対策・企画課 ☎ 24・11151

人の動き

5月1日 現在
総人口 250,464人(前月比+1,047人)
男性 118,553人(+746人)、女性 131,911人(+301人)
世帯数 105,718世帯(前月比+628世帯)

4月中の動き
転入 1,950人、転出 791人、出生 155人、死亡 267人

させば市政だより

テレビ NBC 土曜 9:25~9:30、NCC 土曜 17:25~17:30
KTN 土曜 11:45~11:50、NIB 日曜 6:30~6:35
ラジオ FM長崎 火曜 9:05~9:10
FMさせば 金曜 13:00~13:55、16:00~16:55(再)
土・日曜 8:00~8:55(再)
新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

させば市政だより キラっ都させば

朝長市長が市の施策などをお知らせする広報番組「させば市政だより~キラっ都させば~」。本年度第1回放送では「世界で最も美しい湾クラブ」を紹介します！視聴者プレゼントもありますので、どうぞご覧ください。

【放送スケジュール】
第1・3土曜 9:25(NBC)、11:45(KTN)
第2・4土曜 17:25(NCC) 第2・4日曜 6:30(NIB)
毎週日曜 18:55 テレビ佐世保

◀スマホなどでの視聴はこちら ▶視聴者プレゼントの応募はこちら

秘書課 ☎ 24-1111